

—住民と自治体職員が思い重ねあう ひ・ろ・ば—

# 第19回大阪地方自治研究集会「全体集会」

2017年7月9日(日)13:15~16:30 受付12:45~

エル・おおさか 南館ホール(5階) 参加費 500円

## 語り合いましょう⇒⇒⇒「公共の役割」

5人に1人が貧困という子どもたち。全国に比べても高い非正規率。なくされる公立保育園・幼稚園。  
チャレンジテストに振り回される教育現場。公務員バッシングの裏で何がおこっているのか。  
住民の足・安全安心を奪う公共交通の民営化。まだまだつづく民営化。  
病院、保育所、等々…住民生活のすべてが自己責任へ?!  
そしたら、自治体は何するの? ごみで埋め立てた洲(シマ)にバクチ場づくり?! 「維新政治」は何をしてきたか?

○ごあいさつ 森 裕之 立命館大学教授(実行委員長)

○住民、職員、学者が様々な実態を語る

子どもの貧困 チャレンジテスト 保育所 市民病院

保健所 非正規職員 自治体の役割 カジノ・万博 etc

○まとめ 中山 徹 奈良女子大学教授(大阪自治体問題研究所理事長)



主催：大阪地方自治研究集会実行委員会 実行委員長 森裕之(立命館大学教授)  
連絡先：大阪自治労連 TEL：06-6354-7201 E-Mail：info@osaka-jichiroren.jp